

コロナ患者の隔離期間短縮

コロナ感染がさらに続き、御殿場、小山の直近 1 週間の新規陽性者は 10 万人当たり 300 から 500 という数字を記録し、保育園、幼稚園、学校での感染が増加し、入院する患者さんも増加し、その逆に入院したくてもできない患者さんも増加しています。

令和 4 年 2 月 2 日、厚労省はコロナの濃厚接触者およびコロナに感染した無症状患者の隔離期間を 10 日から 7 日に短縮しました（有症状患者は従前どおり 10 日間）。これは 7 日経てば感染力がなくなるという学問的な裏付けよりも、10 日も隔離しては社会活動が成り立たないという配慮が働いたものと推測されます。

また医師の判断で PCR 検査がなくともコロナ感染と診断できるようになりましたが、患者さんとすれば裏付けもなく感染者と決めつけられては納得がいかないという意見も当然出てくるものと思われ、医師の判断も個々のケースで違ってくるものと思われます。

いずれにしても日々コロナ患者さんを診察している先生方にとって毎日が緊張の連続で、さらに個別のワクチン接種が始まって心休まる暇もないことと推察します。ただ静岡市でも浜松市でも同様の声が聴かれており、これは全国的な問題と言えます。止まない雨はないからと自分自身を励まし、少しでも先生方の負担にならない方法を考えなければならないと考えています。